

ジンバブエ共和国月報（２０２３年１０月）

主な出来事

【内政・外交】

- コレラの感染拡大
- ムナンガグワ大統領、人口と開発における国際会議（ICPD）を開催
- 若者の収容者数割合が最大に：ジンバブエ統計局（ZimStat）
- サウジアラビア外交団の来訪
- 議会、野党 CCC 議員及び市議員 15 名のリコール
- SADC 選挙監視団による最終報告書の提出
- 薬物利用を原因とする中退率が 60 % を占める
- シャワ外務・国際貿易大臣、トルコ・アフリカ・フォーラムに出席
- ジンバブエにおけるクーデター発生リスク：調査機関
- ジンバブエ、キューバと共同で薬品製造工場を建設
- ジンバブエ、韓国と経済関係強化
- ロシア、医療従事者訓練を促進
- 下痢とマラリアによる死亡者数が 400 人を超える
- 電子版政府資材調達（E-GP）システムの導入
- 反制裁の日（25 日）
- ムナンガグワ大統領、中国・ジンバブエ関係を称賛
- ジンバブエ、ベラルーシと協力拡大
- ジンバブエ、破綻国家（Failed State）に近づく
- スイス、ジンバブエとの二国間合意に署名

【経済・経済協力】

- アラブ首長国連邦（UAE）企業とカーボン・クレジット取引における覚書に署名
- UNICEF：200 万人の子どもが支援を必要としている
- ゴールド電子トークン（ZiG）、市場での利用が開始される
- ジンバブエと南アフリカ、リンボポ川に 3 つめの橋建設に合意
- ジンバブエ電力配給公社（ZETDC）、電力供給量引き上げのため電力税引き上
- ジンバブエ、中国と伝統的薬品の利用促進のため協力
- 南アフリカ居住のジンバブエ人人口が 100 万人を超える
- IMF、ジンバブエを SADC 圏内で経済急成長を遂げている国の一つに
- ジンバブエ債務開発連合（Zimcodd）：ジンバブエの燃料費は SADC 諸国で最も高値
- 周中国大使：ジンバブエはリチウム電池の開発インフラが未整備
- IMF：インフレ率は 400 % まで上昇する
- EU、カリバ湖ダム修繕事業に 1 億 2,000 万米ドル拠出

- USAID、帰還民支援のため IOM に 1 0 0 万米ドルを拠出
- 新たな観光地への投資促進
- ジャがいもの自給自足率が 1 0 0 % に
- ジンバブエ、タンザニアと自動車輸入簡易化における協力を進める
- 外貨預金が 4 3 3 % 増加し 1 6 億米ドルに到達
- ウガンダ航空、ハラレ経由の南アフリカ行きを含む他航空便の運航開始
- 制裁がジンバブエのダイヤモンド産業を苦しめている
- 2 0 2 3 年のタバコ輸出総額が 7 億 5 , 8 0 0 万米ドルに到達
- ジンバブエ中央銀行 (RBZ) が金融政策委員会 (MPC) を開催
- IMF 事前調査団の来訪
- 外貨収益の減少
- 中国、ジンバブエに約 2 7 3 万米ドル相当の食糧支援
- 価格上昇で国民は苦悩を続ける
- 多通貨制度、2 0 3 0 年まで採用
- ジンバブエ国内停電状況

【内政・外交】

・コレラの感染拡大

マシング州ザカ郡は、コレラの感染拡大を抑制するため、保健省への事前通知なしの公共の場での集会を禁止した。今年2月以降のコレラ感染者数が4,600人を超え、死者数は130人となった。(9日付、デイリーニュース紙)

・ムナンガグワ大統領、人口と開発における国際会議(ICPD)を開催

9日、ムナンガグワ大統領は、ヴィクトリア・フォールズで、2日間にわたり、第20回人口と開発における南南・三角協力国際閣僚会議を開催した。30以上の人口と開発分野関係者らが参加し、過去30年間の性と生殖に関する健康と権利、人口開発に関する課題における進捗を議論した。ムナンガグワ大統領は、本会議で、妊婦の健康と乳幼児死亡率の減少を優先課題とするとし、「ジンバブエの人口は1982年の760万人から2022年は1500万人まで増加してきた。この増加は、生活の質改善によるものであり、HIV 及び AIDS 関連の死亡率低下も人口増加に影響している。」と述べた。(9日、10日付、ヘラルド紙)

・若者の収容者数割合が最大に：ジンバブエ統計局(ZimStat)

ジンバブエ統計局(ZimStat)は、国内刑務所の新規収容者の割合において若者が占める割合が最大であると報告した。若い収容者は、教育を受けず、窃盗、暴行、不法侵入、強盗等で逮捕されている。最も大きな割合を占めるのが、20～24歳、次に25～29歳である。(9日付、デイリーニュース紙)

・サウジアラビア外交団の来訪

9日、アーデル・アル・ジュベイル・サウジアラビア王国外務担当国務大臣が、ムハンマド皇太子の特使として外交団を率いて当国を訪問した。ムナンガグワ大統領は、11月にリヤドで開催されるアラブ・アフリカ・サミットに出席し、国際リーダーらと協力を深め、ジンバブエにおける多くの投資機会についても議論する予定である。

アーデル外務担当国務大臣は、当国大統領府を訪問し、ムナンガグワ大統領と二国間課題について議論を交わした。また、Expo2030ホスト開催及びFIFAワールドカップ2034ホスト開催の立候補国であるサウジアラビアは、ジンバブエの支持を要請した。

シャワ外務・国際貿易大臣は、「サウジアラビアからの外交団が述べていたことは、ムナンガグワ大統領が、Expo2030とFIFAワールドカップ2034への支持を認めたということである。また、今年末までには、当国にサウジアラビア大使館を開設する。サウジアラビアからは、すでに大使の当国訪問があった。多くの分野で協力を進めていく。」と述べた。(10日付、ヘラルド紙)

・議会、野党CCC議員及び市議員15名のリコール

(1) 野党 CCC 事務局長と名乗るセンゲヅ・チャバング氏により、マタベレランド州の CCC 議員 15 名及びブラワヨ州、マタベレランド・ノース州、マタベレランド・サウス州の CCC 市議員 17 名がリコールされた。本件に関して、ムデンダ下院議長は、対象の議席を空席とすると発表した。

ムクワナンジ CCC 広報担当官は、リコールは違法であると述べている。リコールにより、補欠選挙が実施され、議会で現在 3 分の 2 の議席を獲得できていない与党 ZANU-PF にとってはこれが有利に働く可能性がある。(10 日付、ニュースデイ紙)

(2) チャミサ CCC 党首は、政府に対して、“違法な”リコールに対処するよう求め、2 週間の期間を設けた。チャミサ CCC 党首は、「CCC 議員及び市議員全員に対して、この問題が解決されるまでは、議会職務から離れることを命じる。」と述べた。また、チャミサ CCC 党首及び CCC は、チャバング氏を偽物かつ ZANU-PF の代理人であると批判した。

リコールされた議員らは、高等裁判所で申立てを行った。(12 日付、ニュースデイ紙)

(3) ウェルシュマン・ヌーベ CCC 副党首は、現在の CCC 党内分裂について、CCC 内部のガバナンス制度強化に迅速に動かなければ、CCC はすぐにでも完全内乱状態になるだろうとし、“幼稚な政治”には関わりたくないと述べた。

また、テンダイ・ビティ CCC 副党首も、「自身は政党の党首ではない。今の混乱状態に巻き込まれることを拒否する。」と X で述べた。(12 日付、デイリーニュース紙)

・SADC 選挙監視団による最終報告書の提出

12 日、SADC 選挙監視団 (SEOM) による最終報告書が政府に提出された。同報告書は、「SEOM は、選挙期間中、平和に、秩序をもって行動したジンバブエ国民を称賛する。また、平和と非暴力の呼びかけを行った政党も称賛する。中には、ジンバブエ憲法、選挙法、SADC 原則を満たさない要素も見られた。選挙結果に不満や異論をもつ者は、国内の法律に従い、法的プロセスに則って議論を進めることを求める。」と報告した。(13 日付、デイリーニュース紙)

また、「ジンバブエ選挙管理委員会 (ZEC) 委員の中には、与党 ZANU-PF 幹部と深い繋がりがある者も含まれており、選挙法及び SADC 原則とガイドラインに違反している可能性がある。勧告として、ZEC 委員としての条件を満たしていない者として検討される必要がある。」と報告された。(13 日付、ニュースデイ紙)

・薬物利用を原因とする中退率が 60 % を占める

UNICEF と他調査機関らによる報告によると、中退理由のうち、薬物利用を原因とする中退率が約 60 % を占めた。中退が貧困と犯罪増加へと繋がり、悪循環になっている。集団暴力行為の 70 % が学生によるもの、パートナーによる暴力 (IPV) と GBV の 15 % が若者によるものである。また、自殺未遂理由のうち 40 % が、薬物濫用を原因とする。

(14日付、デイリーニュース紙)

・シャワ外務・国際貿易大臣、トルコ・アフリカ・フォーラムに出席

第4回トルコ・アフリカ・ビジネス経済フォーラムが開始され、シャワ外務・国際貿易大臣が、ジンバブエ・トルコ間の貿易及びビジネス機会の拡大についてスピーチを行った。ジンバブエ産業連盟(CZI)、他政府機関からの代表団がトルコを訪問し、エルドガン大統領やAU議長らが出席した。(12日付、ヘラルド紙)

シャワ外務大臣は、多くの意味ある関係構築ができたとし、ボラト・トルコ貿易大臣との面談では、1億米ドル以上の二国間貿易規模を目指す姿勢を見せた。シャワ外務大臣は、世界最大の建設企業の一つであるスンマ社代表理事長らとも会談を行い、「園芸品や綿を含む多くのジンバブエ製品をトルコへ供給する準備ができている。ジンバブエ国内全ての主要分野における投資機会を模索するよう促した。トルコ側も、すでに多くのトルコ企業がビジネス機会の模索を始めており、協力拡大の準備はできている。」と述べた。(15日付、サンデーメール紙)

・ジンバブエにおけるクーデター発生リスク：調査機関

2つの国際調査機関によると、ジンバブエは、次期(2028年)選挙実施までにクーデターが起こる可能性が高く、また南部アフリカ地域でも動乱が起きる可能性が高いとされた。フィッチ・ソリューション社は、ジンバブエを、サブ・サハラ・アフリカ地域でクーデターが起きるリスクが高い国2か国のうち一国とし、ドラゴンフライ社も、スーダンとリビアに次いで、南部アフリカで唯一の、クーデター発生の深刻なリスクを抱える国とした。(16日付、ニュースデイ紙)

・ジンバブエ、キューバと共同で薬品製造工場を建設

ジンバブエは、在ジンバブエ・キューバ大使館と協力して、国内の医薬品産業を改善させるため、ワクチンや他医薬品の製造工場を建設する。ジンバブエは、医薬品産業に関しては輸入に頼ってきたが、世界40カ国以上に医薬品を輸出し、医薬品製造における活発なバイオテック産業をもつキューバとの協力により、その技術などがジンバブエへ伝えられることが期待される。(19日付、ヘラルド紙)

・ジンバブエ、韓国と経済関係強化

20日、韓国からの特使がムナンガグワ大統領を表敬訪問した。両国は、投資機会を模索しており、韓国は、エネルギー、ICT、観光、教育、農業、鉱業分野における投資に関心を示した。(21日付、ヘラルド紙)

・露、医療従事者訓練を促進

20日、クラシルニコフ露大使がモンベショ保健・育児大臣を表敬訪問した。クラシルニコフ大使は、製薬や疫学分野における従事者訓練を含むヘルスケア分野において、ジンバブエとの協力を進めていくことに努めると述べた。(21日付、ヘラルド紙)

・下痢とマラリアによる死亡者数が400人を超える

保健省の統計によると、過去数ヶ月間で、下痢による死者数が208人となり、新規発症数は8,873人となった。また、マラリアによる死者数は242人、新規感染者数が1,087人となった。下痢発症者数増加の原因は、衛生不足やきれいな水へのアクセスがないことであり、マラリア感染者数増加の原因は、水資源の消毒不足や症状が発症した初期段階での治療を受けていないことである。(23日付、ニュースデイ紙)

・電子版政府資材調達(E-GP)システムの導入

23日、ムナンガグワ大統領は、電子版政府資材調達(E-GP)システムを導入したことから、人間の関与を最小限にさせ、汚職削減防止に繋がるとされる。(24日付、ヘラルド紙)

・反制裁の日(25日)

ロウレンソ SADC 議長／アンゴラ大統領は、「SADC は、ジンバブエに対する全ての制裁撤廃を求め、ジンバブエとジンバブエ国民に確固とした連帯を表明する。ドーハン国連特別報道官による、人権における一方的かつ強制的な措置(制裁)の悪影響に関する報告書を重要視することを求める。」と述べた。また、ファキ AU 委員会委員長は、「AU は、ジンバブエの機関及び個人に対する制裁の即座の無条件撤廃を求め、SADC を同様の支持をする。国際的な食料及びエネルギー危機状態にある中で、ジンバブエの社会経済発展における制裁の悪影響に強い懸念を示す。」と述べた。

ムナンガグワ大統領は、Xにて、「ファキ AU 委員会委員長と AU による制裁の無条件撤廃を求める確固とした支持に感謝する。繁栄のためのジンバブエの社会経済開発と Vision2030 における AU の取組は非常に貴重である。共に、強い姿勢でいる。」と述べた。

5 25日、ハラレ市やブラワヨ市をはじめとする国内全国各地で、制裁反対のデモ行進が行われた。(26日付、ヘラルド紙)

・ムナンガグワ大統領、中国・ジンバブエ関係を称賛

26日、中国の支援による新国会議事堂の引き渡し式で、ムナンガグワ大統領は、過去数年間に渡り、中国・ジンバブエ間の外交及び経済関係は拡大を見せてきており、多くの中国企業がジンバブエへの巨額投資を進めてきていると述べた。ウェンフォン(Wenhong)中国国際開発協力機構副代表が、習近平国家主席の特使として外交団を率い、新国会議事堂を正式にジンバブエへ引き渡した。

ムナンガグワ大統領は、「2018年の中国訪問時に、習近平国家主席は、ジンバブエに

において4つの事業を進める政治的決断を下した。ワンゲ火力発電所7・8号機建設融資事業、ロバート・ムガベ国際空港近代化・拡大事業、新国会議事堂建設事業、NetOne インターネット拡大事業である。これら全ての事業が無事に完了されたことを称賛する。」と述べた。(27日付、ヘラルド紙)

・ジンバブエ、ベラルーシと協力拡大

30日、シェイマン特使(元大統領官房長)率いるベラルーシからの代表団が、2023年1月のルカシェンコ大統領訪問のフォローアップとして、ムナンガグワ大統領を表敬訪問した。世界で最大の一人あたり乳製品生産率を誇るベラルーシは、生産、加工、製品マーケティングの為に新技術拡大を進めており、ジンバブエの牛乳生産量拡大を目指して最先端の乳製品工場を建設する計画を立てている。(31日付、ヘラルド紙)

・ジンバブエ、破綻国家(Failed State)に近づく

World Justice Project (WJP) により発表された法の下の平等(RoL)指数によると、反腐敗活動、基本的権利、公正、犯罪における正義などの欠如により、ジンバブエは、徐々に破綻国家へと近づいている。WJPは、世界142カ国で調査を行っており、RoL指数において、ジンバブエはSADC諸国で最悪の120位にランク付けされた。ボツワナ49位、南アフリカ69位、ザンビア82位、マラウイ90位、モザンビーク113位である。(30日付、ニュースデイ紙)

・スイス、ジンバブエとの二国間合意に署名

スイスは、ジンバブエの食料安全保障等を改善させるため、6,000万米ドルの新たな二国間協力プログラム(2023~2026年)に合意した。同資金は、食料安全保障、機会とより高い収入へのアクセス確保、基本的医療・社会保護・災害リスク削減へのアクセス確保、ガバナンス問題における市民社会及び国家機関の参加とアカウンタビリティの向上を目指し割り当てられる。(30日付、ニュースデイ紙)

【経済・経済協力】

- ・アラブ首長国連邦（UAE）企業とカーボン・クレジット取引における覚書に署名

2日、ジンバブエ政府は、アラブ首長国連邦（UAE）企業と15億米ドルのカーボン・クレジットにおける取引覚書に署名した。アラブ首長国連邦（UAE）を拠点とするグリーン投資ビジネスを行うグローバル・カーボン・インベストメント（GCI）社は、当国環境・気候・野生動物省と、ジンバブエの炭素吸収源及び炭素（排出）緩和措置による利益を見いだすために、15億米ドルの覚書に署名した。

同資金は、パリ協定第6条「国際的に移転された緩和成果（ITMOs）」に沿って、将来のカーボン・クレジットの取引や開発の為に利用される。本合意により、ジンバブエは、アフリカ大陸で初の ITMOs に基づく金融制度をもつ国となる。ITMOs 市場は拡大しており、2050年までに多大な利益を生み出すと予測されている。（2日付、ヘラルド紙）

- ・UNICEF：200万人の子どもが支援を必要としている

UNICEFによると、国内300万人の脆弱な立場にある市民のうち子ども約200万人が、緊急人道支援を必要としている。2023年、国連は、干ばつ、フレディ（台風）、洪水、感染拡大中の下痢症状（コレラ）、経済危機といった複数の課題に直面しており、3,280万米ドルの支援金を求めている。（4日付、デイリーニュース紙）

- ・ゴールド電子トークン(ZiG)、市場での利用が開始される

5日より、国内取引において、ゴールド電子トークン（ZiG）も支払い方法として認められるようになった。ZiGは、5日時点で、1ミリグラムあたり377,77ZWLもしくは6,14米ドル相当である。ジンバブエ中央銀行（RBZ）が管理している金と同量のZiG分だけ発行され、外部監査も入る。ZiGは、投資や価値貯蔵を目的として使われていたが、5日からは、買い手と売り手の両方がZiG口座をもち、取引の際にZiGを利用することに合意した場合に、ZiG口座を通して取引ができる。

取引の際には、ゴールド電子トークンはジンバブエ・ゴールド（ZiG）－実際の金の電子版－として表示され、ZWL及び米ドルのどちらでもトークンを購入することができる。（6日付、ヘラルド紙）

- ・ジンバブエと南アフリカ、リンポポ川に3つめの橋建設に合意

5日、ムナンガグワ大統領とラマポーザ大統領は、ベイトブリッジ国境地点で、地域的及び国際的貿易を促進させるため、リンポポ川をまたぐ3つめの橋を建設するための議論を交わした。また、ビジネス促進のための一環として、ワン・ストップ・ボーダーの実施を進めていくことにも合意した。3億米ドルの拠出による修繕工事事業により、ジンバブエ側ベイトブリッジ国境地点では、現在3つのターミナルが設けられている。（6日付、ヘラルド紙）

- ・ジンバブエ電力配給公社（ZETDC）、電力供給量引き上げのため電気代引き上げ

ジンバブエ電力配給公社（ZETDC）は、2023年の電力税を2米セント引き上げる申請をしたことから、安定した電気供給量と経済成長支援のためのキャパシティ拡大が期待されると述べた。ZETDC は、電気代の引き上げにより、電力配給にかかる修繕及びメンテナンス等を含む事業への資金や、ワング火力発電所7・8号機の修繕事業及び1～6号機のメンテナンスにかかる融資返済に割り当てられる。

現在、ZESA の電気代は137ZWL/kWh であるが、147ZWL まで引き上げられる予定である。（8日付、サンデーメール紙）

- ・ジンバブエ、中国と伝統的薬品の利用促進のため協力

ジンバブエと中国は、ヘルスケアサービスにおける選択肢を増やすため、伝統的薬品の利用における協力を強化する。モンベショラ保健・育児大臣は、ユ中国国家保健副大臣と面会し、様々な当国経済や技術支援における中国の支援に感謝の意を示し、伝統的薬品の利用についてもジンバブエが中国から学べることは多くあると述べた。（9日付、ヘラルド紙）

- ・南アフリカ居住のジンバブエ人人口が100万人を超える

2022年2月に南アフリカで実施された国勢調査では、外国人を含む全ての人口割合が計算された。国外で生まれた人口が増加しており、20～44歳の男性が多く、主に、ジンバブエ（南アフリカ居住外国人人口の42%を占める）、モザンビーク、レソト、マラウィ、英国である。（10日付、デイリーニュース紙）

- ・IMF、ジンバブエを南部アフリカ開発共同体（SADC）圏内で経済急成長を遂げている国の一つに

IMF は、ジンバブエの2022年の GDP 成長率が6.2%であったことから、ジンバブエを SADC 諸国でも経済急成長を遂げている国の一つとして挙げた。2022年の SADC 諸国の GDP 成長率は、モザンビークが7%、コンゴ（民）が6.7%、タンザニアが5.2%、モーリシャスが5.1%、セーシェルが4.2%であった。（12日付、ヘラルド紙）

- ・ジンバブエ債務開発連合（Zimcodd）：ジンバブエの燃料費は、SADC 圏内で最も高価

ジンバブエ債務開発連合（Zimcodd）の最新の報告書によると、燃料費において、その市場寡占状態を原因とし、ジンバブエは SADC 諸国圏内で燃料費が最も高い国となった。

ジンバブエ電力規制庁（ZERA）は、ガソリン価格を1.65米ドル／1リッターと維持しており、ディーゼル価格を1.76米ドル／1リッターから1.79米ドル／1リッターに引き上げている。

国内燃料市場は、与党 ZANU-PF と繋がりをもつとされている少数団体によって独占されている。(12日付、ニュースデイ紙)

・周中国大使：ジンバブエはリチウム電池の開発インフラが未整備

周中国大使は、ジンバブエには、膨大な量のリチウム鉱石が埋まっているが、リチウム電池開発インフラが未整備であるとし、「中国は、鉱業分野、特にリチウムセクターの拡大を通して、付加価値創造や低カーボン（排出量）での開発のためのジンバブエ政府の取組を支援する。しかし、それをすぐにできるわけではない。リチウム電池生産において課題はいくつかある。短期的に見れば、リチウム電池生産のためには、硫酸といった高額な原料を輸入で入手しなければならない。また、リチウム鉱石は、加工にあたり十分な電力が必要である。長期的に見れば、ジンバブエのエネルギー産業は、南アフリカやザンビアといった隣国との競争に勝たなければならない、詳細な市場分析と政策措置が必要である。」と述べた。(13日付、ニュースデイ紙)

・IMF：インフレ率は400%まで上昇する

IMF は、ジンバブエドル (ZWL) の下落により、今年末までには、年間インフレ率が400%に上昇すると予測する。2023年末までには、396.2%、2024年末には190.2%となると予測した。また、2023年の GDP 成長率を4.1%と予測した。(13日付、ニュースデイ紙)

・EU、カリバ湖ダム修繕事業に1億2,000万米ドル拠出

EU は、ジンバブエ国内の電力発電能力を改善させるためのグローバル・ゲートウェイ計画の一環として、カリバ湖ダムの修繕事業に1億1,300万 EUR (1億2,000万米ドル相当) の拠出をすると発表した。12日、カーチマン在ジンバブエ EU 大使とスタシアク在ザンビア EU 大使は、モヨ・エネルギー・電力開発大臣らと共にカリバ湖を視察した。両国は、カリバ湖を共同所有している。

カーチマン EU 大使は、「同ダムの修繕事業は、ジンバブエ国内の総電力生産量の50%以上を賄える可能性がある。EU、ザンベジ川庁、世銀、アフリカ開発銀行、スウェーデン国際開発機構 (SIDA)、ザンビア、ジンバブエの共同事業は、ジンバブエとザンビアの未来への投資である。」と述べた。

ジンバブエは、カリバ湖での水力発電により1050 MW を発電している。2022年、ジンバブエとザンビアは、カリバ湖の水量減少により、電力不足状態に陥っている。(13日付、ニュースデイ紙)

・USAID、帰還民支援のため IOM に100万米ドルを拠出

USAID は、帰還民が収入を得るための技術能力拡大を目指して、IOM に1,097,540米ドルを拠出する。同資金は、国内の脆弱な地域や災害に弱い地域支援に行き渡る。

(14日付、デイリーニュース紙)

・新たな観光地への投資促進

ロジ観光・ホスピタリティ産業大臣は、経済成長の為に新たな観光地は重要であるとし、ヴィクトリアの滝、カリバ湖、イースト・ハイランド、ハラレ、ブラワヨといった伝統的な観光地に加えて、新都市（マウント・ハンブデン）、ビンガ、ツグイ-ムコシ、カニエンバ、マゾウェ等も新たな観光地として投資を呼び込んでいくと述べた。ロジ観光大臣は、「国内外からの投資を呼び込み、国家開発戦略（NDS）1のもと、観光分野が経済成長に大きく貢献できるよう優先経済分野として宣伝していく。2025年までには、国内への投資規模において少なくとも6億米ドルを観光分野が占めると予測する。」と述べた。(14日付、デイリーニュース紙)

・じゃがいもの自給自足率が100%に

政府による国内生産品の利用（消費）促進を目指した輸入代替政策が実を結び、食用じゃがいもは、100%の自国生産消費率となった。(17日付、ヘラルド紙)

・ジンバブエ、タンザニアと自動車輸入簡易化における協力を進める

タンザニアが、タンザニア港庁（TPA）事務所をジンバブエ国内に新設したことにより、アジアや欧州等からのダレサレムを通した自動車及びモノの輸入が簡易化される。今まで、ジンバブエ国民は、アジアや欧州から購入した中古車入手のためにダルエスサラームに向かう必要があったが、ハラレ市内に TPA 事務所が設置されたことにより、そのような長距離移動といった複雑なロジの手続きが簡素化される。(17日付、ヘラルド紙)

・外貨預金が433%増加し16億米ドルに到達

マングジカ中央銀行（RBZ）総裁は、国内外貨預金総額が、2018年の3億米ドルから433%増加し、2023年9月末時点では16億米ドルとなったと述べた。国内関係当局は、米ドル廃止に努めているものの、国内経済活動における主要通貨は米ドルであり、市場での米ドル利用は80%を占める、と述べている。(20日付、インディペンデント紙)

・ウガンダ航空、ハラレ経由の南アフリカ行きを含む他航空便の運航開始

ウガンダ航空は、カンパラから、ハラレ経由で南アフリカ、ケープタウン行きの航空便を運行開始させる。これにより、ジンバブエを繋ぐ航空便、ケニア航空、エチオピア航空、ルワンダ航空に加わる。今年11月28日からは、南アフリカ、クルーガー・ヴィクトリア・フォールズ間、2024年第1四半期には、ナミビア・ヴィクトリア・フォールズ間の航空便の運航開始が予定されている。(20日付、インディペンデント紙)

・制裁がジンバブエのダイヤモンド産業を苦しめている

欧米諸国による制裁により、国内ジュエリー製造及びダイヤモンド精製により得られるとされる800億米ドル相当の収益獲得にジンバブエは苦しんでいる。アフリカ大陸は、ボツワナをダイヤモンドの最大産出国として、ダイヤモンド原石における世界市場の65%を生産している。ジンバブエは、世界市場において2.16%のシェアをもつが、その50%が、世界市場において51%のシェアを持つ米国に行き渡る。2022年、ジンバブエはダイヤモンド原石の生産国として4億2,400万米ドルの収益を生み出し世界7位であるが、精製により得られる潜在的収益は獲得できていない。(23日付、ヘラルド紙)

・2023年のタバコ輸出総額が7億5,800万米ドルに到達

2023年のタバコ輸出規模が、現時点で7億5,800万米ドル相当以上の1億5,300kgに到達し、前年同期比で28%上昇した。ジンバブエは、タバコ生産においてアフリカ大陸で最大の生産規模であり、世界では、中国、インド、ブラジル、米国、インドネシアに次いで6番目のタバコ輸出国である。(23日付、ヘラルド紙)

・ジンバブエ中央銀行(RBZ)が金融政策委員会(MPC)を開催

23日、ジンバブエ中央銀行(RBZ)は、金融政策委員会(MPC)会合を開き、金利を150%から130%に引き下げ、11月1日以降輸出収益における外貨保持率75%を全ての経済分野における基準とすると発表した。この他、低手数料の銀行開設促進、銀行カードやデジタル金融サービスの利用促進、外国為替市場の自由化及び市場調整取組を目指す信用取引における上限10%の撤廃推奨を発表した。(23日付、RBZ)

・IMF 事前調査団の来訪

18～25日にかけて当国を来訪していたIMFのSMP事前調査団が、その結果報告を発表した。同調査団を率いたマリシェウスキ氏は、「ジンバブエ経済は、コロナ禍後回復を続けているが、長期的な成長可能性を高める為には、改革取組が必要である。2023年のGDP予測は、鉱業、農業、エネルギー分野における堅調な経済活動により、4.8%と予測する。2024年には、鉱物資源と気候問題による農業分野における需要低下により3.5%となると予測する。対外(経済)条件が悪化する中で、経済状況は、マクロ経済の安定と構造改革に左右される。」と発表した。(25日付、IMF)

・外貨収益の減少

2023年1～9月間の外貨収益が、商品価格の低下により、昨年同期比で45億米ドルから20%低下した36億米ドルとなった。ジンバブエ中央銀行(RBZ)は、「世界経済の停滞により、白金、ニッケル、リチウムを含む多くの鉱物資源の価格が低下しており、

これがジンバブエ経済の輸出収益に悪影響を与えている。2021年の輸出収益額は63億7千万米ドル、2022年は74億2千万米ドルであった。鉱業分野は、昨年の輸出収益の75.8%（56億米ドル）を占めた。」と述べた。（26日付、フィナンシャル・ガゼット紙）

- ・中国、ジンバブエに約273万米ドル相当の食糧支援

26日、中国国際開発協力庁副代表率いる外交団が、新国会議事堂で、ジンバブエに対して、約273万米ドル相当の緊急食料援助を支給すると発表した。同時に、農村部におけるきのこ農家に対する技術支援も行う。（27日付、ヘラルド紙）

- ・価格上昇で国民は苦悩を続ける

ジンバブエドル（ZWL）の通貨価値が減少を続け、基本消費財及びサービス価格が価格上昇を見せていることから、国民の多くが経済的困難状況に迫いやられている。ジンバブエ統計局（ZimStat）によると、一人あたりの総消費貧困線は、9月の95,462 ZWLから10月は105,072 ZWLまで上昇した。10月の一人あたりの食料貧困線は、80,512 ZWLである。また、10月の月間インフレ率は、1.5%上昇し、年間インフレ率は、103%となった。（27日付、ニュースデイ紙）

- ・多通貨制度、2030年まで採用

ムナンガグワ大統領は、米ドル利用を、当初予定されていた2025年から2030年まで延長するSIと発表したことから、投資家の信用を生み、ビジネスプランにおける確実性をもたらすことが期待される。（28日付、ヘラルド紙）

- ・ジンバブエ国内停電状況

- （1）ZESA、国内の停電状況改善に動く

停電が続くなか、国内での電力需要増加に対応するため、ZESAは、新電力事業を開始させる。ガタZESA代表は、今後3年間のうちに、1100MWの発電所建設計画を実施するとし、「現在新事業に取り組んでおり、なかには、中国企業による特別電力発電所の設置も含まれている。また、IPPが関与する事業も含まれ、ジンバブエ人投資家によるIPP関与の事業は重要である。」と述べた。

ワンゲ火力発電所1・2号機の修繕作業も予定しており、発電可能容量は250MWから840MWとなる予定である。特に、鉱業、産業、農業分野からの電力供給の需要はこれまでになく増加しており、今後3年間で2300MWの電力供給が求められている。

カリバ湖の発電所は、最大1080MWの電力供給が可能である一方、現在600～620MWしか発電できていない。ワンゲ火力発電所は、最大1520MWの電力供給が可能であるが、7・8号機からは635MWしか発電されていない。

現在の国内電力需要量は2000MW以上であるが、先週時点では、ワンゲ火力発電所

では975MW、カリバ湖発電所では614MWしか発電されていない。(9月30日付、デیلیーニュース紙)

(2) ZESA、債務に負われる

ジンバブエ電力送配給社(ZETDC)は、最近のワンゲ火力発電所7・8号機の稼働にあたり、6,000万米ドル以上もの負債を抱えることとなり、国内電力供給事情に脅威を与える。ワンゲ火力発電所7・8号機は、米ドルベースの契約であり、民間外国投資が同プロジェクト拡大の為の資金として使われた。

スタンダード紙が収集した情報によると、ZETDCは、キロワット時0,12米ドルで購入し、消費者に対しては0,10米ドルで売っている。

シノハイドロ・コーポレーション社により、7・8号機で600MWが発電されているが、稼働(事業完成)には15億米ドルの費用がかかった。シノハイドロ社には、外貨で返済する必要がある一方で、消費者は、税価格が一定でないジンバブエドル(ZWL)で電力を購入している。税価格設定の問題が解決されなければ、中国との関係にも影響を及ぼす可能性がある。(1日付、スタンダード紙)

(3) 電気代引き上げ

ジンバブエ電力配給公社(ZETDC)は、29日より、電気代を19%(1キロワット/時間あたり2米セント)値上げした。ZETDCは、発電にかかる費用増加に直面してきた。現在、一日あたり最高18時間にも及ぶ停電が続いている。(28日付、ニューズデイ紙)